

第31回総会で確認された2009年度活動報告と2010年度活動方針

<報告>

1、第30回支部総会(09/10/17)は、「睡眠時無呼吸症候群」をテーマに神戸アドベンチスト病院の森経春先生と井尻歯科クリニックの井尻博和先生が講演し、50人が参加した。支部研究会として「インスリン治療のトレードオフ」(09/10/31、小谷圭先生、30人)、「医療人のしゃべりコミュニケーション講座」(09/11/14、アナデューサー・田村正浩氏、18人)、「安心・安全な住環境が生活を支える」(09/12/12、神戸学院大学講師・糟谷佐紀先生、10人)、「開業医だからできるアンチエイジング」(女医の会と共催、1/16、110人)、「インクレチン関連糖尿病薬の位置付けと可能性」(4/17、神戸大学・小川渉先生、27人)、「ドクターとナースの連携で明日から出来る禁煙指導」(6/12、神戸大学准教授西村善博先生・神戸大学附属病院看護師蓬莱節子氏、66人)を開催した。会員懇談会「後悔しない雇用管理―スタッフとの上手な付き合い方」(9/5、嶺山洋子社労士)を開催し、18人が参加した。職員対象に行った医療安全管理研修会(2/13)・接遇研修会(2/20、7/3)には合計220人が、保険請求事務講習会(11/7・8、7/17・18、8/28・29)には3回で約260人が参加し、好評を得た。健康と医療について語り合う会は7回開催し、184人が参加した。

2、中央市民病院移転問題では、支部研究会「どうなる?!新中央市民病院」(8/26、神戸市民病院機構・益谷佳幸氏、14人)を開催、支部が指摘してきた問題点が解消されていないことが明らかとなった。

3、震災復興対策では、被災者ネットワークに協力するなど、協会・支部としても引き続き被災者支援に取り組んでいる。震災復興長田の会の運動にも引き続き協力を行っている。

4、神戸市内全区で結成されている社会保障推進協議会に参加し、各区での国保相談会の開催や国保料引き下げを求める請願署名など、地域で社会保障を守る取り組みを進めた。

5、2009年10月の神戸市長選挙では、各候補者に支部の要求実現を働きかけた。「神戸再生」が擁立を検討した榎野孝人候補と3回にわたって懇談し「開業医の要求案」への支持を働きかけたが、政策協定にはいたらず、神戸支部は支持推薦を行わなかった。榎野氏は「神戸再生」とも政策協定には至らなかったが、「神戸再生」は勝手連で支援した。支部は「神戸再生」を退会した。

6、支部幹事会は第3木曜日を定例化して毎月開催した。

7、支部ニュースはNo.223からNo.232まで10回発行した。

<方針>

1、学術研究会、医院経営研究会など会員の要求にそった研究会、事務講習会や接遇研修会など職員対象の研修会の開催に努める。また市民公開講座も随時開催する。

2、震災復興対策では、引き続き災害公営復興住宅へ転居した被災者の健康を守る取り組みなどをすすめる。震災復興長田の会など地域の運動にも参加し共同をすすめる。

3、支部活動の活性化をはかるため幹事会への参加を広げる取り組みや、地域に密着した区単位の活動を強める。

4、各区の社保協など、医療や福祉で共闘する団体への参加協力をすすめる。

5、国保、介護保険や結核問題など地域医療にかかわる重要な問題では、引き続き行政への働きかけなどをすすめる。

6、健康と医療について語り合う会への講師派遣など積極的に協力する。

7、支部ニュースは、会員を主体とした記事作りをすすめ、定期発行に努める。

8、政策部と協力し、医療ツーリズムを含む神戸医療産業都市構想・医療特区問題、新中央市民病院問題に取り組む。

9、引き続き神戸市政問題での運動に参加、協力する。

兵庫県保険医協会

223号 2010年11月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

総会記念講演「医院のトラブル対策」に105人が参加

快適な医院づくりが肝心



トラブル事例や対策について学んだ記念講演

神戸支部は10月16日、協会会議室で第31回総会を開催。議事では田中孝明支部長を再選するとともに、新幹事を選出した。記念講演「医院のトラブル対策2010年版」(講師は大阪府保険医協会事務局の尾内康彦氏)には、会員やスタッフなど105人が参加した。記念講演参加者の感想文を紹介する。

今年5月に皮膚科医院を開院しました。最近のトラブルの傾向や、それに対する対策を把握しておくために、今回の講演に当院職員とともに出席させていただき、大変勉強になりました。職員ともども厚く御礼申し上げます。

毎日ごく普通に診察をしていますが、常

にトラブルの不安は付きまといまいます。開院前には職員全員に接遇講習を受講させたり、警備会社のセキュリティーシステムにて警報ブザーを設置したりと、様々な場面を想定して準備をし、院内トラブルマニュアルも作成しました。しかし、実際の現場においてそれが完璧なマニュアルであると

(2面に続く)

(1面続き)

の確信はありませんし、想定外のことも生じてくると思っておりました。そのような不安を抱く中、今の時勢に合致した現実の事例を数多く紹介いただいたことで、トラブル対応の幅が広がり、なによりトラブルそのものを予防あるいは拡大を抑制できるようになるためのヒントや知識をたくさん教えていただきました。今後も医院内に生

じうる様々な場面に適切に対応できる、トラブルの少ない、患者や職員にとってより快適な医院を目指したいと思いますので、これからも今回のような勉強をさせていただく機会をぜひ設けていただけますようによろしくお願いいたします。

【中央区・加茂 統良】

心強い！安心感もらった研究会

最近では常識を疑うような要求を平気で口にする患者が増えて来た。

モンスターペイシエント(MP)と呼ばれる問題患者は、根本的に我々医療関係者と患者さん達の間にある、医療に対しての考え方の違いが原因で増加しているという。

患者は、①患者には治療方法を自己決定する権利はあるが、医師の診療行為に協力する必要はない②病院にかかったら医師には治す義務がある③病気は治って当然④専門医が診察すれば疾病の原因が必ずわかる⑤医療はいつも安全⑥医師は何があっても診察を拒否できない、と誤解をし、一方医療者は根が優しい人が多く、「病気を抱えて弱い立場にいる患者だから訴えてはいけない」とか、「暴力も病気のうち」ととらえる、患者からの暴力にもひたすら耐えることを

美德とする傾向もMPの増加に拍車をかけているらしい。確かにそう考えれば患者の不可解な言動も納得出来る事は多い。精神障害者、マル暴関係、薬物依存者のトラブルはもっと頭が痛い。治療の支払いをしない患者の未収金の取り立ては簡易裁判所の支払い命令が出ても、実際には難しいという事実も驚きだ。

明日は我が身！今や人ごとやアンラッキーではすまない。何か起こる前に対策の準備は必要である。どのタイミングで警察に協力を仰ぐか？など、実際には難しい問題は多々あるが、何かあったら相談の窓口がある！不安の中にも心強い安心感を貰った今回の講演。今後も定期的な開催を期待しています。

【須磨区・渡辺 雅子】

< 投稿を募集しています >

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや、主張などお寄せください。 FAX 078 - 393 - 1802 田村まで e-mail tamura@doc-net.or.jp

理事長から神戸支部第31回総会へ寄せられたメッセージを掲載する。

メッセージ

兵庫県保険医協会
理事長 池内 春樹

神戸支部第31回総会のご盛会を御祝いたします。神戸支部会員のみなさまには日ごろから兵庫県保険医協会の中心支部として、兵庫県保険医協会の各種活動や署名にご協力いただきありがとうございます。

さて民主党政権になって一年、私たちの期待もむなしく国民生活は少しもよくなりません。もっともっと地元選出国會議員と懇談して医療の実情についての理解を深めていただく必要があります。民主党は、国民医療費の対GDP比を8%からOECDなみの10%に引き上げるとの公約を、公的国民皆保険を充実させるのではなく、混合診療容認で行おうとしています。神戸市の活性化を名目とした医療産業都市構想や医療特区がその目玉です。神戸市医師会も兵庫県医師会も医療や命の平等性がそこなわれると反対されています。海外からの医療ツーリズムや移植目的のKIFMEC病院で神戸経済を活性化させることはできません。正規雇用を増加させることが神戸の、兵庫県の、経済活性化に不可欠です。公的な国民皆保険や介護保険を充実させれば雇用が増え経済は活性化します。

民主党が即時廃止を公約した年齢で差別する後期高齢者医療制度は即時廃止どころかさらに対象年齢を拡大しようとしています。

医療崩壊を食い止める一番の方法は、患者さんの窓口負担をゼロにし、憲法25条の具体化である何時でも誰でも何処でもお金の心配なしに医療を受けることができる国民皆保険制度を充実させることです。兵庫県保険医協会では『クイズで考える日本の医療』で患者さんに国民健康保険について考えてもらったり、ラジオ関西の『医療知ろう』で私たちの考えや意見を発表しています。ぜひ神戸支部の会員の先生方にもご協力をお願いいたします。k

民主党は非核三原則の見直しまで言い出しています。武器輸出で経済を活性化しようなど言語道断です。非核神戸方式を日本中にひろめ憲法9条を守りましょう。

2010年度支部役員

支部長 田中 孝明(長田区)

副支部長 武村 義人(中央区) 小西 達也(中央区)

支部幹事

【東灘区】口分田 勝・小林 重行・小林 有希 / 【灘区】大林 利治・落合 愛子

坂谷 久明・鈴田 明彦・椿田 重彦・村上 正治・小谷 圭(新) / 【中央区】服部かおる

林 俊明・結縁 繁夫・郷地 秀夫(新)・林 重伸(新)・川西 敏雄(新) / 【兵庫区】小野

耕二・田村 忠之・吉川 信嘉 / 【北区】大石麻利子 / 【長田区】上田 耕蔵

江原 重幸(新) / 【須磨区】加藤 擁一・近重 民雄 / 【垂水区】高橋 直彦 / 【西区】林

祐介・吉岡 正雄・上月 雅子(新)

顧問

(東灘区) 浦井 洋(灘区) 川口 重義・落合 愛子(新)(兵庫区) 朝井 榮(新)(長田区)

内田 敬止(新)